

【住宅耐震対策事業 **耐震診断** 完了実績報告書】

■必要な書類

- ★完了実績報告書（様式第8号）
- ★耐震診断報告書（別紙様式第1号）計算書共
- ★配置図
- ★平面図
- ★耐震診断に係る業務委託契約書の写し
- ★耐震診断に要した費用の領収書の写し
- ★調査等の状況写真（2～3枚程度）
- ★委任状

★マークの資料をご提出ください。

■完了実績報告書の注意点

日付

※提出日になります。

実施期間完了日より後の日付で、完了日から20日以内に提出してください。

印影 ※申請時と同じ印鑑を押印ください。

補助金交付決定額

※金額部分の訂正はできません。

着手年月日

※契約書の契約日を記載してください。

完了年月日

※領収書の日付と耐震診断報告書の日付の遅い方の日付となります。

■耐震診断報告書の注意点

耐震診断技術者

※建築士事務所に登録されている建築士の方で、耐震診断技術者に求められる講習会を受講している方又は構造設計一級建築士となります。

診断結果

※上部構造評点と判定見解を記載してください。

建築基準法に基づく規定

※法52条、法53条確認のため、敷地面積、建築面積（申請以外の建物も）、延床面積を配置図又は平面図に記載してください。

※法55条、法56条確認のため、建築物の高さを配置図又は平面図に記載してください。

■業務委託契約書、領収書の注意点

- 写しを提出してください。
- 収入印紙を添付してください。(契約書、領収書共)
※印紙税法により、非課税とされているもの(個人)を除きます。

■配置図の注意点

- 前面道路の道路種別、幅員を記載してください。
- 敷地の高低差が分かるようにレベルを記載してください。
※擁壁等がある場合は記載してください。
- 敷地内に申請建物以外の建物(カーポート、物置等)がありましたら記載してください。
- 縮尺および方位を記載してください。

■平面図の注意点

- 各室の用途、寸法が分かるように記載してください。
- 開口部の高さが分かるように腰窓、掃出し窓等の記載もしくは、高さ寸法を記載してください。
- 通し柱がある場合は明示してください。
- 構造的に分離していたり、増築部分があったりする場合は内容を記載してください。
- 縮尺および方位を記載してください。

■計算書の注意点

- モジュールや壁の配置及び仕様を平面図と合わせてください。
- 「木造住宅の耐震診断と補強方法」P31 表 3.2 の規定以外の壁仕様計算がある場合は
その他別添仕様を添付してください。
- 地域係数を0.9としてください。
- 計算ソフトで算出した計算書を手書き修正しないでください。

■委任状の注意点

- 申請者の印影が申請書と同じか確認してください。
- 代理人の方も忘れずに押印してください。

■状況写真

- 写真を撮影した範囲が平面図等で確認できるよう記入してください。

☆お問い合わせ先☆

高松市役所 建築指導課 電話：087-839-2488 FAX：087-839-2452